

稲作情報 第5号 【コシヒカリの穂肥】

コシヒカリの第1回目穂肥は慎重に！！

第2回目穂肥は確実に！！

コシヒカリの生育状況

- ・ 草丈は近年に比べやや長く、葉色は濃く推移しています。
- ・ 幼穂形成期は、田植えが5月15日の場合、7月13日頃と見込まれます。

幼穂形成期の稲の姿



	田植日	草丈 (cm)	莖数 (本)		葉令	葉色
			株当り	m ² 当り		
本年	5/14	72.4	18.4	380	12.1	4.0
前年	5/14	74.9	20.4	415	12.2	4.2
近年平均値	5/13	68.9	22.5	441	12.1	3.9

(7/12 調査)

穂肥施用の目安

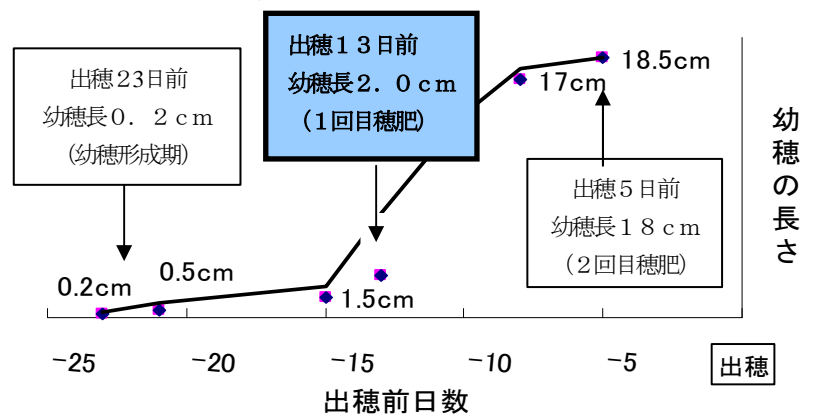
○第1回目の穂肥

本年は、2～3日程度遅めの施用とします。幼穂の長さ2.0cmを確認し慎重に行いましょう。

○第2回目の穂肥

基準量を確実に施用し、穂揃期の葉色を4.2～4.5に誘導しましょう。

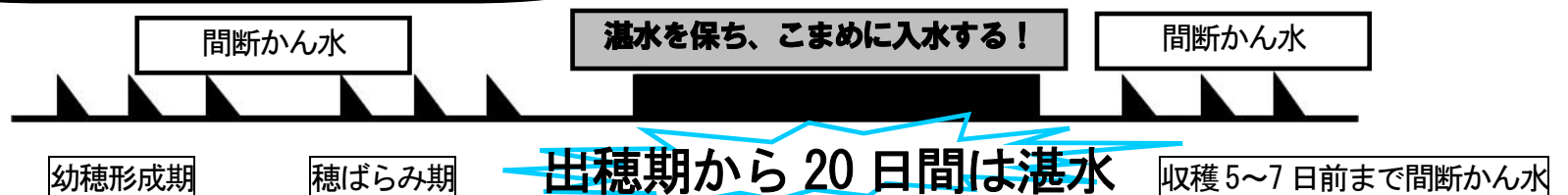
幼穂の長さによる出穂時期の目安



●生育状況による穂肥施用時期・量の目安

穂肥施用時期 の生育状況	1回目の目安		2回目の目安	
	時期	肥料名と量 (/10a)	時期	肥料名と量 (/10a)
葉色がさめた 適正な生育 幼穂長 2.0cm 草丈：82cm程度 葉色：3.5～3.8	7月22日 ～24日頃	ひみ穂肥 10Kg 有機穂肥32号 10Kg (ひみ穂波契約栽培地区) LP追肥38号 15～17Kg	1回目の 1週間後	ひみ穂肥 10～13Kg 有機穂肥32号 10Kg (ひみ穂波契約栽培地区)
葉色がさめず 旺盛な生育 草丈：85cm以上 葉色：3.9以上	○施用量を減らす (上記施用量から3～4割程度施用量を減らす) ○施用しない		1回目の 1週間後	上記施用量を基準とする ※1回目穂肥を施用できなかった場合 で、2回目にLP追肥38号を施用 する場合の施用量は8Kgとする。

出穂期から20日間は湛水



- 幼穂形成期以降は水不足にならないよう、間断かん水を行いましょう。
- 圃場がやわらかい場合は、落水期間を長めにとり、圃場を干し気味に管理しましょう。
- フェーンが予想される場合は、事前に入水しておきましょう。